学校番号	405

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「歴史総合　近代から現代へ」　（山川出版）						
副教材等	「歴史総合要点チェック」（山川出版社）　「歴史総合資料集」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○歴史的事象を多角的に捉え、現代社会とのつながりを意識しながら学習していく。問いを立て、資料を読み解き、自らの考えを深める力を育てていきたい。
○おもに近代・現代の歴史を扱うため、現代的な諸課題の形成に関わる近現代史の歴史を考察する学習を通じて、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質・能力を培ってほしい。

2　学習の到達目標

a:近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら日本・世界相互の歴史について理解できる。
b:現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会について、資料の活用、またはグループ活動等で自分の考えを表現できる
c:授業での積極的な発言やグループ活動で協調性をもって取り組むことができる。また、グループ活動結果の発表や発表のサポートについて自分なりに工夫して役割を遂行することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	第1部　近代化と私たち	第１章　結びつく世界 １　アジア諸地域の繁栄と日本 ２　ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 第２章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 １　ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ２　アメリカ独立革命とフランス革命 ３　19 世紀前半のヨーロッパ ４　19 世紀後半のヨーロッパ ５　19 世紀のアメリカ大陸 ６　西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ７　中国の開港と日本の開国 第３章　明治維新と日本の立憲体制 １　明治維新と諸改革 ２　明治初期の対外関係 ３　自由民権運動と立憲体制 第４章　帝国主義の展開とアジア １　条約改正と日清戦争 ２　日本の産業革命と教育の普及 ３　帝国主義と列強の展開 ４　世界分割と列強の対立 ５　日露戦争とその影響	a: 中国の開港と日本の開国、立憲制の広まり、産業革命と交通・通信手段の革新などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b: 産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治や経 済の変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の 国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強 間の関係の変容などを多面的・ 多角的に考察し、表現している。 c: 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に 取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期考査・授業プリント	定期考査・授業プリント・グループ活動・発表	ワークシート・グループ活動・発表

2学期	第2部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	第５章　第一次世界大戦大衆社会 １　第一次世界大戦とロシア革命 ２　国際平和と安全保障 ３　アジア・アフリカ地域の民族運動 ４　大衆消費社会と市民生活の変容 ５　社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 第６章　経済危機と第二次世界大戦 １　世界恐慌の発生と各国の対応 ２　ファシズムの台頭 ３　日本の恐慌と満州事変 ４　日中戦争と国内外の動き ５　第二次世界大戦と太平洋戦争 第７章　戦後の国際秩序と日本の改革 １　新たな国際秩序と冷戦の始まり ２　アジア諸地域の独理宇 ３　占領下の日本と民主化 ４　占領政策の転換と日本の独立	a: 第一次世界大戦の展開、日本や アジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の 台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に国際協調体制を理解している。 理解している。第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の 始まりとアジア諸国の動向，戦後改 革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復を理解する。 b: 第一次世界大戦の推移と第一次 世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が 人々に何をもたらしたのかについて考察し、表現している。 c: ・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題 を追究しようとしている。	定期考査・授業プリント	定期考査・授業プリント・グループ活動・発表	ワークシート・グループ活動・発表

3学期	第3部　グローバル化と私たち	第８章　冷戦と世界経済 １　集団防衛体制と核開発 ２　米ソ両大国と平和依存 ３　西ヨーロッパの経済復興 ４　第三世界の連携と試練 ５　55 年体制の成立 ６　日本の高度経済成長 ７　核戦争の恐怖から軍縮へ ８　冷戦構造のゆらぎ ９　世界経済の転換 第９章　グローバル化する世界 １　冷戦の終結と国際情勢 ２　ソ連の崩壊と経済のグローバル化 ３　開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 ４　地域紛争の激化 ５　国際社会のなかの日本 第 10 章　現代の課題 １　現代世界の諸課題 ２　現代日本の諸課題	a: 冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展をもとに市場経済の変容と課題を理解している。 b: 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: ・グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って 学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期考査・授業プリント	定期考査・授業プリント・グループ活動・発表	ワークシート・グループ活動・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度